

■ 建築工学科（昼間部） 教科目〔科目担当者〕一覧

設計実務経験者授業	57 単位	81 単位
施工実務経験者授業	24 単位	
1年次総単位数		49 単位
2年次総単位数		44 単位
総単位数		93 単位

科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
建築製図Ⅰ	1	必修	岩雲 康弘		○	192	12
建築製図Ⅱ	2	必修	児玉 道子	○		162	10
建築CADⅠ	1	必修	山田 梨佳	○		64	4
建築CADⅡ	2	必修	蜂須賀 亮子	○		54	3
建築計画	2	必修	小牧 友久	○		54	3
計画実践	2	必修	佐藤 龍彦	○		81	5
建築史	1	必修	岩田 敏也		○	32	2
環境工学	1	必修	蜂須賀 亮子	○		64	4
建築設備	2	必修	大橋 真一			54	3
構造力学	1	必修	小牧 友久	○		64	4
建築一般構造	1	必修	稲生 哲雄	○		64	4
建築構造演習	1	必修	近藤 幹	○		32	2
建築材料	1	必修	高橋 伸明			32	2
建築施工Ⅰ	1	必修	岩雲 康弘		○	64	4
建築施工Ⅱ	2	必修	児玉 道子	○		48	3
建築生産	2	必修	鈴木 樹	○		22	1
建築法規Ⅰ	1	必修	峰松 将馬	○		64	4
建築法規Ⅱ	2	必修	松井 一将			54	3
建築法規Ⅲ	2	必修	松井 一将			33	2
施工管理	1	必修	岩雲 康弘		○	36	2
建築ITⅠ	1	必修	臼井 あゆみ			32	1
建築ITⅡ	2	必修	臼井 あゆみ			32	1
建築総合演習（基礎）	1	必修	岩雲 康弘		○	96	3
建築総合演習（実践）	2	必修	児玉 道子	○		162	5
卒業制作・演習	2	必修	児玉 道子	○		150	5
建築測量実験	1	必修	岩雲 康弘		○	48	1

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（昼間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	12
⑦ 担当教員(代表)		岩雲 康弘	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。 1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。 2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	線・文字の練習1		17	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図		
2	線・文字の練習2		18	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1		
3	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース		19	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2		
4	専用住宅(木造2階建)の平面図		20	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図		
5	専用住宅(木造2階建)の断面図		21	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図		
6	専用住宅(木造2階建)の立面図		22	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図		
7	専用住宅(木造2階建)の矩計図1		23	集会場(鉄骨造2階建)の平面図		
8	専用住宅(木造2階建)の矩計図2		24	集会場(鉄骨造2階建)の断面図		
9	専用住宅(木造2階建)の伏図		25	集会場(鉄骨造2階建)の立面図		
10	専用住宅(木造2階建)の軸組図		26	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1		
11	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1		27	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2		
12	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2		28	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1		
13	専用住宅(木造2階建)の建具表		29	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2		
14	専用住宅(木造2階建)の展開図		30	木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）		
15	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図		31	木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）		
16	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図		32	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）		
⑰ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	永井孝保 他
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	010101

■ 建築設備科 教科目〔科目担当者〕一覧

設計実務経験者授業	64 単位	95 単位
施工実務経験者授業	31 単位	
1年次総単位数		56 単位
2年次総単位数		46.5 単位
総単位数		102.5 単位

科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
建築製図Ⅰ	1	必修	佐藤 龍彦	○		96	6
建築製図Ⅱ	2	必修	青山 好之	○		40.5	2
建築CAD	1	必修	山田 梨佳	○		64	4
設備CAD	2	必修	藤井 利孝	○		111	7
設備製図Ⅰ	1	必修	篠原 弥生	○		48	3
設備製図Ⅱ	2	必修	近藤 茂	○		144	9
建築計画	1	必修	日比 優介	○		64	4
計画実践	2	必修	青山 好之	○		48	3
環境工学	1	必修	澤田 多喜二			32	2
給排水衛生設備	1	必修	篠原 弥生	○		64	4
空調設備	2	必修	富高 正寛		○	54	3
消防設備	1	必修	富高 正寛		○	64	4
構造力学	2	必修	森 登	○		69	4
建築一般構造	1	必修	石黒 達哉		○	64	4
建築材料	1	必修	鈴木 樹	○		32	2
建築施工	1	必修	岩田 敏也		○	32	2
設備施工	1	必修	荒居 秀征		○	32	2
施工管理	2	必修	富高 正寛		○	22	1
建築設備積算	2	必修	荒居 秀征		○	54	3
建築法規	2	必修	二宮 伸吾	○		54	3
電気工事実習	2	必修	加藤 穰治			96	3
配管実習	1	必修	伊藤 充		○	96	3
上下水道	2	必修	西岡 英明	○		22	1
電気設備演習	1	必修	富高 正寛		○	64	4
空調理論	1	必修	近藤 茂	○		64	4
建築測量実験	2	必修	松井 一将			7.5	0
電気設備Ⅰ	1	必修	近藤 茂	○		32	2
電気設備Ⅱ	2	必修	近藤 茂	○		32	2
熱源設備	1	必修	西岡 英明	○		64	4
建築IT	2	必修	臼井 あゆみ			27	0.5
設備総合演習	2	必修	富高 正寛		○	152	5
キャリア演習	1	必修	辻 喜博			32	2

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		設備製図Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 建築設備科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	144	⑥ 単位数	9
⑦ 担当教員(代表)		近藤 茂	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築工事に伴う建築設備工事は多岐にわたり、それぞれの工事を専門業者が施工するにあたり指針となる設計図、施工図が必要になる。近年は設備専用C A Dで図面を作成するのが主流であるが、実際の納まりや他業者との取り合いは手書きによって理解できるものであり、製図の基本である。						
⑬ 授業の概要						
「設備製図Ⅰ」の基礎知識を踏まえ、設計図を施工図化して実務に対応した平面図、立面図、断面図、各部分詳細図を作成する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	セクショナルボイラ廻り蒸気配管図		17	某信用金庫空調設備図		
2	セクショナルボイラ廻り蒸気配管図		18	某信用金庫空調設備図		
3	受水槽廻り給排水衛生配管図		19	某信用金庫空調設備図		
4	受水槽廻り給排水衛生配管図		20	某信用金庫空調設備図		
5	給排水・衛生配管図 総合図		21	某信用金庫空調設備図		
6	給排水・衛生配管図 総合図		22	某信用金庫空調設備図		
7	給排水・衛生配管図 総合図		23	某信用金庫空調設備図		
8	給排水・衛生配管図 総合図		24	某信用金庫空調設備図		
9	給排水・衛生配管図 総合図		25	某学校教室ダクト配管図		
10	給排水・衛生配管図 総合図		26	某学校教室ダクト配管図		
11	某公団給排水衛生配管詳細図		27	某学校施設機械室配管詳細図		
12	某公団給排水衛生配管詳細図		28	某学校施設機械室配管詳細図		
13	某公団給排水衛生配管詳細図		29	某学校施設機械室配管詳細図		
14	某公団給排水衛生配管詳細図		30	電気・消火設備図		
15	某公団給排水衛生配管詳細図		31	電気・消火設備図		
16	某公団給排水衛生配管詳細図		32	電気・消火設備図		
⑰ その他		教科書	初級技術者のための施工図作成マニュアル		出版社：設備システム研究会	
		教材	配布資料		著 者：	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	020107

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		配管実習				
② 対象学科		工業専門課程 建築設備科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	96	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		伊藤 充	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
配管工事に使用される管材や継手の種類を知り、加工・接続方法などの施工上の留意点を、建築施工の取り扱いを考慮しながら習得する。						
⑬ 授業の概要						
硬質塩化ビニール管、銅管、鋼管を用いて加工・接続を行う。また、それらに付随する金具、給水機器、排水機器の取付けなど基本的な施工の知識を学び、建築物に影響を与える施工上の問題点を学ぶ。また、各種実験装置を操作することにより、水の流れや警報装置の鳴動を知る。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	アイソメ図を作成し、硬質塩化ビニール管の継手類説明。及びその加工、接続		17	鋼管にて課題を作成し、建築物に対する管、継手、弁類の施工上の留意点を学ぶ。		
2	アイソメ図を作成し、硬質塩化ビニール管の継手類説明。及びその加工、接続		18	鋼管にて課題を作成し、建築物に対する管、継手、弁類の施工上の留意点を学ぶ。		
3	アイソメ図を作成し、硬質塩化ビニール管の継手類説明。及びその加工、接続		19	鋼管にてバイパス配管		
4	アイソメ図を作成し、硬質塩化ビニール管の継手類説明。及びその加工、接続		20	鋼管にてバイパス配管		
5	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		21	鋼管にてバイパス配管		
6	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		22	鋼管にてバイパス配管		
7	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		23	鋼管にてバイパス配管		
8	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		24	鋼管にてバイパス配管		
9	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		25	鋼管にてバイパス配管		
10	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		26	鋼管にてバイパス配管		
11	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		27	硬質塩化ビニール管、銅管、鋼管の3種類を加工する複合配管		
12	銅管の種類や継手類の説明。及びその加工、接続		28	硬質塩化ビニール管、銅管、鋼管の3種類を加工する複合配管		
13	鋼管にて課題を作成し、建築物に対する管、継手、弁類の施工上の留意点を学ぶ。		29	硬質塩化ビニール管、銅管、鋼管の3種類を加工する複合配管		
14	鋼管にて課題を作成し、建築物に対する管、継手、弁類の施工上の留意点を学ぶ。		30	硬質塩化ビニール管、銅管、鋼管の3種類を加工する複合配管		
15	鋼管にて課題を作成し、建築物に対する管、継手、弁類の施工上の留意点を学ぶ。		31	給水システム実験装置、排水トラップ実験装置による通水や各警報などの確認		
16	鋼管にて課題を作成し、建築物に対する管、継手、弁類の施工上の留意点を学ぶ。		32	給水システム実験装置、排水トラップ実験装置による通水や各警報などの確認		
⑰ その他		教科書	配管概論	出版社：	職業訓練教材研究会	
		教材	配布資料	著 者：	雇用・能力開発機構 他	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	021007

■ 大工技術科 教科目〔科目担当者〕一覧

設計実務経験者授業	65 単位	78 単位
施工実務経験者授業	13 単位	
1年次総単位数		49 単位
2年次総単位数		47.5 単位
総単位数		96.5 単位

科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
建築製図Ⅰ	1	必修	安藤 修	○		192	12
建築製図Ⅱ	2	必修	三ッ井 正和	○		222	14
建築CADⅠ	1	必修	蜂須賀 亮子	○		64	4
建築CADⅡ	2	必修	河崎 真樹子	○		54	3
建築計画	1	必修	日比 優介	○		64	4
計画実践	2	必修	渡邊 文雄	○		40.5	2
建築史	2	必修	澤田 多喜二			22	1
環境工学	1	必修	近藤 幹	○		32	2
建築設備	2	必修	不破 宏典	○		54	3
構造力学Ⅰ	1	必修	黒野 順子	○		64	4
構造力学Ⅱ	2	必修	小牧 友久	○		32	2
建築一般構造	1	必修	細野 耕司			64	4
建築材料	1	必修	鈴木 樹	○		32	2
建築施工	1	必修	渡邊 文雄	○		64	4
施工図	2	必修	富田 康			22	1
建築積算	2	必修	二宮 伸吾	○		32	2
建築法規Ⅰ	1	必修	河崎 真樹子	○		64	4
建築法規Ⅱ	2	必修	二宮 伸吾	○		54	3
施工管理	2	必修	長屋 充幸			32	2
建築ITⅠ	1	必修	臼井 あゆみ			32	1
建築ITⅡ	2	必修	臼井 あゆみ			27	0.5
大工実習Ⅰ	1	必修	浅井 あゆ子		○	192	6
大工実習Ⅱ	2	必修	平山 繁男		○	222	7
リフォーム計画	2	必修	松井 一将			54	3
建築士演習	2	必修	長屋 充幸			22	1
建築測量実験	2	必修	長屋 充幸			40.5	1
大工総合演習	2	必修	松井 一将			30	2
キャリア演習	1	必修	辻 喜博			32	2

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 大工技術科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	222	⑥ 単位数	14
⑦ 担当教員(代表)		三ッ井 正和		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
1. クライアントの希望や設計条件を正確に把握できる能力を身につける。 2. 設計資料の収集の仕方や分析、また、設計時に必要な計画上の基礎知識を増やす。 3. 提案の趣旨を効果的にプレゼンテーションできる能力を磨く。						
⑬ 授業の概要						
木造の設計では住宅の平面・立面をはじめ、伏図・軸組等の構造図までを描く。木造以外の設計では鉄筋コンクリート造の共同住宅(標準規模:住戸面積80㎡、延べ面積2400㎡、4階建て程度)・ホテル・図書館・学校・公民館と鉄骨造の商業施設の中から一つを選択し設計する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成	17	非木造建築物の設計図面（配置図、求積表、面積表、1階平面図）の作成			
2	木造2階建専用住宅の設計図面（エスキース等）の作成	18	非木造建築物の設計図面（配置図、求積表、面積表、1階平面図）の作成			
3	木造2階建専用住宅の設計図面（配置図、求積図、面積表、1階平面図、2階平面図）の作成	19	非木造建築物の設計図面（基準階平面図等）の作成			
4	木造2階建専用住宅の設計図面（配置図、求積図、面積表、1階平面図、2階平面図）の作成	20	非木造建築物の設計図面（屋階平面図等）の作成			
5	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図、断面図）の作成	21	非木造建築物の設計図面（立面図等）の作成			
6	木造2階建専用住宅の設計図面（矩計図）の作成	22	非木造建築物の設計図面（断面図等）の作成			
7	木造2階建専用住宅の設計図面（1階平面詳細図、階平面詳細図）の作成	23	非木造建築物の設計図面（1階平面詳細図等）の作成			
8	木造2階建専用住宅の設計図面（1階平面詳細図、階平面詳細図）の作成	24	非木造建築物の設計図面（基準階平面詳細図等）の作成			
9	木造2階建専用住宅の設計図面（展開図）	25	非木造建築物の設計図面（断面詳細図等）の作成			
10	木造2階建専用住宅の設計図面（基礎伏図、1階床伏図）の作成	26	非木造建築物の設計図面（大梁、小梁、柱の断面リスト）の作成			
11	木造2階建専用住宅の設計図面（2階床伏図兼1階小屋伏図、2階小屋伏図）の作成	27	非木造建築物の設計図面（各種伏図、各種配筋図）の作成			
12	木造2階建専用住宅の設計図面（各通り軸組図、仕上げ表、表紙）の作成	28	木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成			
13	木造2階建専用住宅の壁量計算書の作成	29	木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成			
14	木造2階建専用住宅の確認申請書の作成	30	木造2階建兼用住宅の設計図面（1・2階平面図、配置図、立面図、2階床伏図、矩計図）の作成			
15	非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成	31	非木造建築物の設計図面（1階平面図兼配置図、2階平面図、立面図、断面図）の作成			
16	非木造建築物の設計図面（エスキース等）の作成	32	非木造建築物の設計図面（1階平面図兼配置図、2階平面図、立面図、断面図）の作成			
⑯ その他		教科書	超入門 建築製図	出版社：	市ヶ谷出版社	
		教材	配布資料	著者：	永井孝保 他	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	030102	

■ インテリアデザイン科 教科目〔科目担当者〕一覧

設計実務経験者授業	70 単位	72 単位
施工実務経験者授業	2 単位	
1年次総単位数		49.5 単位
2年次総単位数		41 単位
総単位数		90.5 単位

科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
建築製図	1	必修	杉山 直樹	○		192	12
建築C A D	1	必修	山田 梨佳	○		64	4
インテリア設計製図	2	必修	市川 大輔			162	10
建築計画	1	必修	日比 優介	○		48	3
建築デザイン史	2	必修	岩田 敏也		○	22	1
計画実践	2	必修	杉山 直樹	○		81	5
環境工学	1	必修	近藤 幹	○		32	2
建築設備	2	必修	不破 宏典	○		54	3
構造力学	1	必修	小牧 友久	○		64	4
建築一般構造	1	必修	細野 耕司			48	3
建築材料	1	必修	鈴木 樹	○		32	2
建築施工	1	必修	渡邊 文雄	○		64	4
施工管理	2	必修	児玉 道子	○		32	2
建築法規	2	必修	二宮 伸吾	○		54	3
建築測量実験	2	必修	石橋 敦士		○	33	1
建築I T I	1	必修	臼井 あゆみ			32	1
建築I T II	2	必修	臼井 あゆみ			27	0.5
デジタルデザイン	1	必修	井熊 里佳	○		72	2
C G I	1	必修	黒野 順子	○		48	1
C G II	2	必修	横山 将基			40.5	2
建築インテリアパースⅠ	1	必修	平内 謙介	○		48	3
建築インテリアパースⅡ	2	必修	平内 謙介	○		40.5	2
建築インテリア模型	1	必修	黒野 順子	○		48	3
ファニチュアデザイン	2	必修	井熊 里佳	○		24	1
照明デザイン	1	必修	井熊 里佳	○		24	0.5
デッサン	1	必修	高橋 伸明			24	0.5
色彩学	1	必修	井熊 里佳	○		32	2
インテリアコーディネーター演習Ⅰ	1	必修	平内 謙介	○		24	0.5
インテリアコーディネーター演習Ⅱ	2	必修	平内 謙介	○		24	0.5
建築総合演習（実践）	2	必修	栗本 真一	○		162	5
卒業制作・演習	2	必修	栗本 真一	○		150	5
キャリア演習	1	必修	辻 喜博			32	2

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	12
⑦ 担当教員(代表)		杉山 直樹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。 1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。 2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	線・文字の練習1		17	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図		
2	線・文字の練習2		18	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1		
3	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース		19	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2		
4	専用住宅(木造2階建)の平面図		20	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図		
5	専用住宅(木造2階建)の断面図		21	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図		
6	専用住宅(木造2階建)の立面図		22	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図		
7	専用住宅(木造2階建)の矩計図1		23	集会場(鉄骨造2階建)の平面図		
8	専用住宅(木造2階建)の矩計図2		24	集会場(鉄骨造2階建)の断面図		
9	専用住宅(木造2階建)の伏図		25	集会場(鉄骨造2階建)の立面図		
10	専用住宅(木造2階建)の軸組図		26	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1		
11	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1		27	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2		
12	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2		28	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1		
13	専用住宅(木造2階建)の建具表		29	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2		
14	専用住宅(木造2階建)の展開図		30	木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）		
15	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図		31	木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）		
16	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図		32	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）		
⑰ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	永井孝保 他
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040101

■ 建築ライセンス科 教科目〔科目担当者〕一覧

一級建築士コース

設計実務経験者授業	27 単位	33 単位
施工実務経験者授業	6 単位	
1年次総単位数		33 単位
2年次総単位数		0 単位
総単位数		33 単位

科目の分類	科目	学年	必選別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
一級建築士コース	一級建築士・計画	1	必修	近藤 幹	○		33	2
一級建築士コース	一級建築士・環境設備	1	必修	長谷川 稔紘	○		55	2
一級建築士コース	一級建築士・法規	1	必修	藤田 隼人	○		88	3
一級建築士コース	一級建築士・構造	1	必修	高野 太輔		○	88	3
一級建築士コース	一級建築士・施工	1	必修	石橋 敦士		○	88	3
一級建築士コース	一級建築士・製図	1	必修	藤田 隼人	○		330	11
その他	確認申請	1	必修	遠藤 忠俊	○		50	2
その他	一級製図	1	必修	安藤 修	○		50	2
その他	総合演習（生産・積算・施工図）	1	選必A	遠藤 忠俊	○		150	5
その他	総合演習（設計・都市計画）	1	選必B	内藤 義幸	○		150	5
その他	総合演習（一級学科）	1	選必C	遠藤 忠俊	○		150	5

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・製図				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	330	⑥ 単位数	11
⑦ 担当教員(代表)		藤田 隼人	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びまた、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。						
⑬ 授業の概要						
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	一級建築士設計課題図面	標準図（平面図）の作成	17			
2	一級建築士設計課題図面	標準図（断面図）の作成	18			
3	一級建築士設計課題図面	標準図（読み取り、構造計画、設備計画）	19			
4	一級建築士設計課題図面	標準図（一式図）の作成	20			
5	一級建築士設計課題図面	設計課題①（エスキスから作図まで）	21			
6	一級建築士設計課題図面	設計課題②（エスキスから作図まで）	22			
7	一級建築士設計課題図面	設計課題③（エスキスから作図まで）	23			
8	一級建築士設計課題図面	設計課題④（エスキスから作図まで）	24			
9	一級建築士設計課題図面	設計課題⑤（エスキスから作図まで）	25			
10	一級建築士設計課題図面	設計課題⑥（エスキスから作図まで）	26			
11	一級建築士設計課題図面	模擬試験	27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	一級建築士 設計製図 基礎	出版社：	総合資格学院	
		教材	テキスト	著 者：		
			配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050117

■ 建築ライセンス科 教科目〔科目担当者〕一覧

二級建築士コース

設計実務経験者授業	29 単位	32 単位
施工実務経験者授業	3 単位	
1年次総単位数		32 単位
2年次総単位数		0 単位
総単位数		32 単位

科目の分類	科目	学年	必選別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
二級建築士コース	二級建築士・計画	1	必修	近藤 幹	○		88	3
二級建築士コース	二級建築士・法規	1	必修	遠藤 忠俊	○		88	3
二級建築士コース	二級建築士・構造	1	必修	内藤 義幸	○		88	3
二級建築士コース	二級建築士・施工	1	必修	石橋 敦士		○	88	3
二級建築士コース	二級建築士・製図	1	必修	遠藤 忠俊	○		330	11
その他	確認申請	1	必修	遠藤 忠俊	○		50	2
その他	一級製図	1	必修	安藤 修	○		50	2
その他	総合演習（生産・積算・施工図）	1	選必A	遠藤 忠俊	○		150	5
その他	総合演習（設計・都市計画）	1	選必B	内藤 義幸	○		150	5
その他	総合演習（一級学科）	1	選必C	遠藤 忠俊	○		150	5

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・製図				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	330	⑥ 単位数	11
⑦ 担当教員(代表)		遠藤 忠俊	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びまた、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。						
⑬ 授業の概要						
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	二級建築士設計課題図面 標準図（配置図兼1階平面図・2階平面図）の作成	17				
2	二級建築士設計課題図面 標準図（立面図・断面図）の作成	18				
3	二級建築士設計課題図面 標準図（矩計図・部分詳細図）の作成	19				
4	二級建築士設計課題図面 標準図（床伏せ図・小屋伏せ図）の作成	20				
5	二級建築士設計課題図面 設計課題①（エスキスから作図まで）	21				
6	二級建築士設計課題図面 設計課題②（エスキスから作図まで）	22				
7	二級建築士設計課題図面 設計課題③（エスキスから作図まで）	23				
8	二級建築士設計課題図面 設計課題④（エスキスから作図まで）	24				
9	二級建築士設計課題図面 設計課題⑤（エスキスから作図まで）	25				
10	二級建築士設計課題図面 設計課題⑥（エスキスから作図まで）	26				
11	二級建築士設計課題図面 模擬試験	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	二級建築士 設計製図 基礎	出版社：	日建学院	
		教材	テキスト	著 者：		
			配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	050106

■ 建築ライセンス本科 教科目〔科目担当者〕一覧

一級建築士コース

設計実務経験者授業	71 単位	81 単位
施工実務経験者授業	10 単位	
1年次総単位数		41 単位
2年次総単位数		44 単位
総単位数		85 単位

科目の分類	科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
一級建築士コース	一級建築士・計画	1	必修	近藤 幹	○		33	2
一級建築士コース	一級建築士・環境設備	1	必修	長谷川 稔紘	○		55	2
一級建築士コース	一級建築士・法規	1	必修	藤田 隼人	○		88	3
一級建築士コース	一級建築士・構造	1	必修	高野 太輔		○	88	3
一級建築士コース	一級建築士・施工	1	必修	石橋 敦士		○	88	3
一級建築士コース	一級建築士・製図	1	必修	藤田 隼人	○		330	11
大学併修	建築造形 A	1	必修	大石 啓明	○		30	2
大学併修	建築造形 B	1	必修	鬼頭 和弘	○		20	1
大学併修	建築造形 C	2	必修	蜂須賀 元文	○		144	9
大学併修	建築計画学Ⅰ	1	必修	大石 啓明	○		20	1
大学併修	建築計画学Ⅱ	2	必修	小牧 友久	○		24	1
大学併修	建築構造学Ⅰ 演習	1	必修	石黒 達哉		○	20	1
大学併修	建築環境工学	1	必修	藤田 隼人	○		20	1
大学併修	構造力学Ⅰ 演習	1	必修	大石 啓明	○		20	1
大学併修	建築材料学	1	必修	藤田 隼人	○		20	1
大学併修	設備計画学	2	必修	荒居 秀征		○	24	1
大学併修	建築史	1	必修	澤田 多喜二			20	1
大学併修	建築史演習	2	必修	澤田 多喜二			24	1
大学併修	建築施工学	2	必修	高野 太輔		○	24	1
大学併修	都市計画学	1	必修	細野 耕司			20	1
大学併修	建築法規	2	必修	峰松 将馬	○		24	1
大学併修	建築デザイン論	1	必修	蜂須賀 元文	○		20	1
大学併修	C A DⅠ	1	必修	鬼頭 和弘	○		30	2
大学併修	C A DⅡ	2	必修	鈴木 樹	○		38	2
大学併修	建築設計Ⅰ－a	1	必修	鈴木 樹	○		30	2
大学併修	建築設計Ⅱ－a	2	必修	鈴木 樹	○		38	2
大学併修	建築設計Ⅲ－a	2	必修	鈴木 樹	○		38	2
大学併修	測量学	2	必修	石橋 敦士		○	24	1
大学併修	地球環境と建築	2	必修	藤田 隼人	○		24	1
大学併修	福祉と建築	1	必修	蜂須賀 元文	○		20	1
大学併修	防災と建築	1	必修	鈴木 樹	○		20	1
大学併修	景観論	2	必修	細野 耕司			24	1
大学併修	建築技術史	2	必修	近藤 幹	○		24	1
大学併修	ワークショップ概論	2	選必A	鈴木 樹	○		<u>30</u>	2
大学併修	プレゼンテーション概論	2	選必A	鈴木 樹	○		<u>100</u>	6
大学併修	建築設計Ⅰ－b	2	選必A	鈴木 樹	○		<u>100</u>	6
大学併修	建築設計Ⅱ－b	2	選必A	鈴木 樹	○		<u>100</u>	6
大学併修	卒業研究Ⅰ	2	選必B	鈴木 樹	○		<u>300</u>	18
大学併修	卒業研究Ⅱ	2	選必B	鈴木 樹	○		<u>30</u>	2

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		一級建築士・製図				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス本科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	330	⑥ 単位数	11
⑦ 担当教員(代表)		峰松 将馬	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びまた、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。						
⑬ 授業の概要						
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	一級建築士設計課題図面	標準図（平面図）の作成	17			
2	一級建築士設計課題図面	標準図（断面図）の作成	18			
3	一級建築士設計課題図面	標準図（読み取り、構造計画、設備計画）	19			
4	一級建築士設計課題図面	標準図（一式図）の作成	20			
5	一級建築士設計課題図面	設計課題①（エスキスから作図まで）	21			
6	一級建築士設計課題図面	設計課題②（エスキスから作図まで）	22			
7	一級建築士設計課題図面	設計課題③（エスキスから作図まで）	23			
8	一級建築士設計課題図面	設計課題④（エスキスから作図まで）	24			
9	一級建築士設計課題図面	設計課題⑤（エスキスから作図まで）	25			
10	一級建築士設計課題図面	設計課題⑥（エスキスから作図まで）	26			
11	一級建築士設計課題図面	模擬試験	27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	一級建築士 設計製図 基礎	出版社：	総合資格学院	
		教材	テキスト	著 者：		
			配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	060117

■ 建築ライセンス本科 教科目〔科目担当者〕一覧

二級建築士コース

設計実務経験者授業	73 単位	80 単位
施工実務経験者授業	7 単位	
1年次総単位数		40 単位
2年次総単位数		44 単位
総単位数		84 単位

科目の分類	科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
二級建築士コース	二級建築士・計画	1	必修	近藤 幹	○		88	3
二級建築士コース	二級建築士・法規	1	必修	遠藤 忠俊	○		88	3
二級建築士コース	二級建築士・構造	1	必修	内藤 義幸	○		88	3
二級建築士コース	二級建築士・施工	1	必修	石橋 敦士		○	88	3
二級建築士コース	二級建築士・製図	1	必修	遠藤 忠俊	○		330	11
大学併修	建築造形 A	1	必修	大石 啓明	○		30	2
大学併修	建築造形 B	1	必修	鬼頭 和弘	○		20	1
大学併修	建築造形 C	2	必修	蜂須賀 元文	○		144	9
大学併修	建築計画学Ⅰ	1	必修	大石 啓明	○		20	1
大学併修	建築計画学Ⅱ	2	必修	小牧 友久	○		24	1
大学併修	建築構造学Ⅰ 演習	1	必修	石黒 達哉		○	20	1
大学併修	建築環境工学	1	必修	藤田 隼人	○		20	1
大学併修	構造力学Ⅰ 演習	1	必修	大石 啓明	○		20	1
大学併修	建築材料学	1	必修	藤田 隼人	○		20	1
大学併修	設備計画学	2	必修	荒居 秀征		○	24	1
大学併修	建築史	1	必修	澤田 多喜二			20	1
大学併修	建築史演習	2	必修	澤田 多喜二			24	1
大学併修	建築施工学	2	必修	高野 太輔		○	24	1
大学併修	都市計画学	1	必修	細野 耕司			20	1
大学併修	建築法規	2	必修	峰松 将馬	○		24	1
大学併修	建築デザイン論	1	必修	蜂須賀 元文	○		20	1
大学併修	C A DⅠ	1	必修	鬼頭 和弘	○		30	2
大学併修	C A DⅡ	2	必修	鈴木 樹	○		38	2
大学併修	建築設計Ⅰ－a	1	必修	鈴木 樹	○		30	2
大学併修	建築設計Ⅱ－a	2	必修	鈴木 樹	○		38	2
大学併修	建築設計Ⅲ－a	2	必修	鈴木 樹	○		38	2
大学併修	測量学	2	必修	石橋 敦士		○	24	1
大学併修	地球環境と建築	2	必修	藤田 隼人	○		24	1
大学併修	福祉と建築	1	必修	蜂須賀 元文	○		20	1
大学併修	防災と建築	1	必修	鈴木 樹	○		20	1
大学併修	景観論	2	必修	細野 耕司			24	1
大学併修	建築技術史	2	必修	近藤 幹	○		24	1
大学併修	ワークショップ概論	2	選必A	鈴木 樹	○		30	2
大学併修	プレゼンテーション概論	2	選必A	鈴木 樹	○		100	6
大学併修	建築設計Ⅰ－b	2	選必A	鈴木 樹	○		100	6
大学併修	建築設計Ⅱ－b	2	選必A	鈴木 樹	○		100	6
大学併修	卒業研究Ⅰ	2	選必B	鈴木 樹	○		300	18
大学併修	卒業研究Ⅱ	2	選必B	鈴木 樹	○		30	2

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		二級建築士・製図				
② 対象学科		工業専門課程 建築ライセンス本科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	330	⑥ 単位数	11
⑦ 担当教員(代表)		遠藤 忠俊	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
二級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びまた、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。						
⑬ 授業の概要						
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	二級建築士設計課題図面 標準図（配置図兼1階平面図・2階平面図）の作成	17				
2	二級建築士設計課題図面 標準図（立面図・断面図）の作成	18				
3	二級建築士設計課題図面 標準図（矩計図・部分詳細図）の作成	19				
4	二級建築士設計課題図面 標準図（床伏せ図・小屋伏せ図）の作成	20				
5	二級建築士設計課題図面 設計課題①（エスキスから作図まで）	21				
6	二級建築士設計課題図面 設計課題②（エスキスから作図まで）	22				
7	二級建築士設計課題図面 設計課題③（エスキスから作図まで）	23				
8	二級建築士設計課題図面 設計課題④（エスキスから作図まで）	24				
9	二級建築士設計課題図面 設計課題⑤（エスキスから作図まで）	25				
10	二級建築士設計課題図面 設計課題⑥（エスキスから作図まで）	26				
11	二級建築士設計課題図面 模擬試験	27				
12		28				
13		29				
14		30				
15		31				
16		32				
⑰ その他		教科書	二級建築士 設計製図 基礎	出版社：	日建学院	
		教材	テキスト	著 者：		
			配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	060107

■ 土木工学科 教科目〔科目担当者〕一覧

測量・設計実務経験者授業	7 単位	59 単位
施工実務経験者授業	52 単位	
1年次総単位数		46 単位
2年次総単位数		47 単位
総単位数		93 単位

科目	学年	必修別	担当者	測量・設計 実務経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
一般教養	1	必修	辻 喜博			32	2
数学	1	必修	中村 央基		○	80	3
測量Ⅰ	1	必修	成田 節雄			80	3
測量Ⅱ	1	必修	鈴木 将仁			80	3
測量学演習	1	必修	桑野 雅裕			64	3
測量学演習	2	必修	中村 央基		○	32	2
環境学概論・都市計画	2	必修	梅田 忠			24	1
土木材料学	1	必修	杉浦 孝文		○	32	2
土木施工学	1	必修	近藤 誠		○	64	3
土木施工学	2	必修	田口 朗		○	96	4
構造力学	1	必修	玉田 隆作		○	64	3
構造力学	2	必修	鈴木 将仁			32	2
土質工学	1	必修	梅田 忠			56	2
水理学	1	必修	玉田 隆作		○	32	2
経理・積算	1	必修	鈴木 将仁			32	2
プレゼンテーション	2	必修	臼井 あゆみ			64	3
鉄筋コンクリート工学	2	必修	高井 勝由		○	16	1
建設機械工学	1	必修	田口 朗		○	16	1
土木法規	2	必修	早川 真司		○	32	2
橋梁工学	2	必修	近藤 真造	○		16	1
環境交通工学	2	必修	野村 種明			16	1
環境河海工学	2	必修	田口 朗		○	32	2
工事管理	2	必修	堀場 敏光		○	80	3
情報処理・演習	1	必修	桑野 雅裕			32	2
情報処理・演習	2	必修	中村 央基		○	32	2
メンテナンス工学	2	必修	小山 勉		○	16	1
建設演習	1	必修	桑野 雅裕			32	2
建設演習	2	必修	中村 央基		○	176	6
建築・電気概論	2	必修	田口 朗		○	16	1
建築設備	2	必修	荒居 秀征		○	16	1
衛生工学	1	必修	玉田 隆作		○	32	2
衛生工学	2	必修	玉田 隆作		○	16	1
実験	1	必修	桑野 雅裕			72	3
実験	2	必修	中村 央基		○	64	3
実習	1	必修	加藤 正義	○		64	3
実習	2	必修	加藤 正義	○		64	3
製図・設計・CAD	1	必修	桑野 雅裕			64	3
製図・設計・CAD	2	必修	中村 央基		○	88	3
企業実習	2	必修	中村 央基		○	80	2
キャリア演習 (HR)	1	必修	桑野 雅裕			32	2
キャリア演習 (HR)	2	必修	中村 央基		○	32	2

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		土木施工学				
② 対象学科		工業専門課程 土木工学科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	96	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		田口 朗	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
自然環境や施工形態が多様な建設工事では、豊富な経験と最新技術への即応力が求められます。本講義では、具体的な施工実例から工事の進め方を学び、一連の工事を管理できる技術者に必要な施工法を理解させる。						
⑬ 授業の概要						
1年次に引き続き、安全管理、工程管理、土工機械、掘削施工、運搬施工、盛土と締固め、基礎工、擁壁、トンネル、を内容とする講義により、土木施工に関する実践的技術を修得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	安全管理の基本と労働安全衛生		17	施工含水比の管理と試験		
2	建設災害の原因と各種防止対策		18	軟弱地盤対策と土質安定処理		
3	安全教育と現場巡視の実務		19	基礎工の分類と選定の基本		
4	工程管理の目的と各種工程表		20	直接基礎の設計と施工手順		
5	ネットワーク工程表の作成法		21	既製杭基礎の施工と支持力		
6	土工機械の分類と選定の基本		22	場所打ち杭基礎の施工法		
7	掘削機械の特徴と作業効率		23	ケーソン基礎などの特殊基礎		
8	積込・運搬機械の特徴と選定		24	擁壁の種類と土圧の基本		
9	締固め機械の種類と特徴		25	重力式・片持ばり式擁壁施工		
10	掘削施工計画と土量の変化		26	補強土壁などの新技術施工		
11	法面掘削と崩壊防止対策		27	トンネル工法の種類と特徴		
12	運搬施工計画とサイクルタイム		28	山岳トンネル（NATM）施工		
13	土量配分計画とマスカーブ		29	シールド工法の仕組みと施工		
14	盛土材料の選定と要求品質		30	開削工法と推進工法の施工		
15	敷き均しと締固めの施工		31	土工・構造物施工の総合演習		
16	前半の総括・確認試験		32	全体の総括・確認試験		
⑰ その他		教科書	最新土木施工	出版社：	森北出版	
		教材	配布資料	著 者：		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	10010

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		工事管理				
② 対象学科		工業専門課程 土木工学科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	80	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		堀場 敏光	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
工事管理の基礎を学び、4大管理機能を理解し円滑で高品質な建設工事を行える能力を身につけ、土木施工管理技士に合格できる知識を理解させる。						
⑬ 授業の概要						
土木構造物を造るにあたり、工事管理の柱である「工程管理（速く）」「品質管理（良く）」「原価管理（安く）」「安全管理（安全に）」の基礎的知識を修得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	ガイダンスと施工計画の総論		17	C P Mによる日程短縮の理論		
2	施工計画の策定手順と事前調査		18	費用勾配を用いた経済的短縮演習		
3	管理目的の設定と主要な管理手法		19	進度管理の方法とSカーブの活用		
4	土工計画の基本方針と機械選定		20	配員計画の作成と労務の平準化		
5	土積曲線（マスカーブ）と土量配分		21	品質管理の目的と要求品質の把握		
6	工程管理の重要性と管理サイクル		22	品質管理のためのQ C 7つ道具		
7	工程図表の種類と特徴（バーチャート等）		23	統計的手法による品質特性値解析		
8	ネットワーク工程表の基本ルール		24	安全管理の目的と関係法規の遵守		
9	ネットワーク工程表の結合点		25	災害要因の分析と現場の安全対策		
10	ネットワーク工程表の作成演習		26	設計積算の仕組みと歩掛の概念		
11	日程計算の基本：フォワードパス		27	工事費の構成：直接費と間接費		
12	日程計算の基本：バックワードパス		28	実行予算の作成目的と編成手順		
13	トータルフロートの算出と演習		29	原価管理（コスト管理）の手法		
14	クリティカルパスの特定と把握		30	設計積算のシミュレーション演習		
15	日程短縮の基本概念とアプローチ		31	工事管理の総合演習と全体の総括		
16	前半の総括・確認試験		32	全体の総括・確認試験		
⑰ その他		教科書	1級土木施工第1次検定徹底 出版社：		ナツメ社	
			図解テキスト&問題集 著 者：		田村正隆	
		教材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	10023

■ 測量設計科 教科目〔科目担当者〕一覧

測量・設計実務経験者授業	47 単位	72 単位
施工実務経験者授業	25 単位	
1年次総単位数		43 単位
2年次総単位数		42 単位
総単位数		85 単位

科目	学年	必修別	担当者	測量・設計 実務経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
一般教養	1	必修	辻 喜博			32	2
測量に関する法規	1	必修	中澤 律夫	○		32	2
測量に関する数学	1	必修	水谷 文一	○		88	3
測量に関する情報処理	1	必修	水谷 文一	○		32	2
測量に関する情報処理	2	必修	水谷 文一	○		16	1
測量学概論	1	必修	中澤 律夫	○		48	2
多角測量	1	必修	宮口 直人	○		48	2
全球測位衛星システム測量	1	必修	桑野 雅裕			32	2
水準測量	1	必修	成田 節雄			32	2
地形測量	1	必修	小川 隼人	○		48	2
写真測量	1	必修	水谷 文一	○		48	2
地図編集	1	必修	小川 隼人	○		16	1
応用測量	2	必修	水谷 文一	○		88	3
測量実習	1	必修	水谷 文一	○		192	5
測量実習	2	必修	加藤 正義	○		144	4
集中実習	1	必修	加藤 正義	○		70	2
GIS	2	必修	小川 隼人	○		24	1
補償業務概論	2	必修	水野 聡	○		48	2
応用力学	1	必修	玉田 隆作		○	64	3
応用力学	2	必修	近藤 真造	○		32	2
土質工学	1	必修	梅田 忠			56	2
水理学	1	必修	玉田 隆作		○	32	2
環境学概論・都市計画	2	必修	梅田 忠			24	1
建設演習	1	必修	中村 央基		○	56	2
建設演習	2	必修	中村 央基		○	40	2
経理・積算	1	必修	鈴木 将仁			32	2
土木材料学	2	必修	杉浦 孝文		○	32	2
土木法規	2	必修	早川 真司		○	32	2
土木施工学	2	必修	所 和久		○	64	3
鉄筋コンクリート工学	2	必修	高井 勝由		○	16	1
橋梁工学	2	必修	近藤 真造	○		16	1
衛生工学	2	必修	杉浦 孝文		○	16	1
環境交通工学	2	必修	野村 種明			16	1
環境河海工学	2	必修	高井 勝由		○	32	2
工事管理	2	必修	小山 勉		○	64	3
情報処理・演習	2	必修	高村 洋二	○		24	1
メンテナンス工学	2	必修	小山 勉		○	16	1
製図・設計・C A D	1	必修	山西 孝二	○		24	1
製図・設計・C A D	2	必修	澤田 謙二	○		158	4

実験	1	必修	中村 央基		○	32	1
実験	2	必修	梅田 忠			42	1
企業実習	2	必修	水谷 文一	○		80	2
キャリア演習 (HR)	1	必修	水谷 文一	○		16	1
キャリア演習 (HR)	2	必修	水谷 文一	○		16	1

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		測量実習				
② 対象学科		工業専門課程 測量設計科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		水谷 文一	⑧ 実務経験	測量・設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建設事業の計画、施工、維持管理などの基礎となる測量結果の良否は、機器類操作の習熟度に大きく影響されるため、測量実習は測量関連学の講義と不可分の関係にある。この実習では測量関連学講義の内容を受け、測量機器の基本的な操作方法と、これらを用いた測量結果を評価する手法ならびに、測量結果を具体的に利用する方法を理解させる。						
⑬ 授業の概要						
測量の基本動作、基準点測量、水準測量等の測量作業現場における測量作業技術の習得並びに計算整理を修得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	測量実習ガイダンスと安全管理および機器概要	17	T S基準点測量の内業（点検計算と網平均計算）			
2	測量機器の据え付けの基本操作と点検手法	18	G N S S 観測データの内業処理と基線解析			
3	オートレベルの取り扱いと基本的な観測作業	19	測量ソフトによる厳密網平均計算と精度管理			
4	トータルステーション（T S）の基本操作	20	基準点測量の成果表作成と成果ファイルの整理			
5	G N S S 測量機の基本操作と衛星測位の原理	21	作業規程の準則に基づく地形測量の計画立案			
6	各種測量機器を用いた距離と角の観測実習	22	T Sを用いた細部測量と地形地物の観測実習			
7	観測手簿の記入法と測量データの基礎的な計算	23	G N S Sを用いた細部測量と現場でのデータ確認			
8	基準点測量に向けた踏査・選点と計画の立案	24	L i D A R等を活用した三次元地形観測の体験			
9	3・4級基準点測量における観測計画の策定	25	野帳（スケッチ）の作成と取得データの照合			
10	T Sを用いた3・4級基準点測量の外業実習	26	観測データの取り込みとC A D連携の基礎			
11	N R T K等G N S Sを用いた基準点測量外業	27	C A Dソフトを用いた地形測量原図の作成手法			
12	基準点測量における偏心観測と取得データ確認	28	等高線の描画と各種地形記号の配置・編集作業			
13	4級水準測量の外業実習（往復観測の実施）	29	地形測量における手簿および計算簿の最終整理			
14	4級水準測量の外業実習（成果の許容範囲確認）	30	測量ソフトを活用した図面仕上げとデータチェック			
15	4級水準測量の内業（観測手簿と計算簿の整理）	31	成果ファイルの統合整理と測量報告書の作成			
16	水準測量成果の点検とコンピュータ計算処理	32	測量実習の成果発表と全工程の総括・評価			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	11014	

■ 測量科 教科目〔科目担当者〕一覧

		測量・設計実務経験者授業				37 単位		39 単位
		施工実務経験者授業				2 単位		
		1年次総単位数				43 単位		
		2年次総単位数				0 単位		
		総単位数				43 単位		
科目	学年	必選別	担当者	測量・設計 実務経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数	
測量に関する法規	1	必修	中澤 律夫	○		32	2	
測量に関する数学	1	必修	小川 隼人	○		80	3	
測量に関する情報処理・演習	1	必修	高村 洋二	○		16	1	
測量学概論	1	必修	中澤 律夫	○		48	2	
多角測量	1	必修	中澤 律夫	○		48	2	
全球測位衛星システム測量	1	必修	桑野 雅裕			32	2	
水準測量	1	必修	成田 節雄			32	2	
地形測量	1	必修	小川 隼人	○		48	2	
写真測量	1	必修	中村 央基		○	48	2	
地図編集	1	必修	小川 隼人	○		16	1	
応用測量	1	必修	小川 隼人	○		72	3	
測量実習・情報演習	1	必修	加藤 正義	○		296	10	
集中実習	1	必修	小川 隼人	○		70	2	
宅建関係法規	1	必修	伊藤 佑樹	○		32	2	
GIS	1	必修	小川 隼人	○		16	1	
補償業務概論	1	必修	水野 聡	○		48	2	
課題研究	1	必修	小川 隼人	○		96	4	

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		測量実習・情報演習				
② 対象学科		工業専門課程 測量科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	296	⑥ 単位数	10
⑦ 担当教員(代表)		加藤 正義	⑧ 実務経験	測量・設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
測量実習は測量関連学の講義と不可分の関係にあるため、この実習では測量関連学講義の内容を受け、測量機器の基本的な操作方法と、これらを用いた測量結果を評価する手法ならびに、測量結果を具体的に利用する方法を理解させる。						
⑬ 授業の概要						
測量の基本動作、基準点測量、水準測量等の測量作業現場における測量作業技術の習得並びに計算整理を修得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	ガイダンス・測量機器の概要		17	GNSS測量（外業）		
2	測量機器の取り扱い基礎		18	4級水準測量（外業）		
3	測量機器の据え付け（1）		19	TS・GNSS測量（内業）		
4	測量機器の据え付け（2）		20	4級水準測量（内業）		
5	測角・水準機器の操作		21	成果ファイル整理		
6	平板測量機器の操作		22	路線測量・道路設計（線形計算1）		
7	3・4級基準点測量（外業）		23	路線測量・道路設計（線形計算2）		
8	2級水準測量（外業）		24	路線測量・道路設計（幾何構造計算1）		
9	基準点・2級水準測量（内業）		25	路線測量・道路設計（幾何構造計算2）		
10	平板による地形測量外業（1）		26	工事測量・路線測量の外業		
11	平板による地形測量外業（2）		27	丁張り実習（1）		
12	手簿・計算簿の整理		28	丁張り実習（2）		
13	地形測量原図作成、コンピュータ計算処理		29	面積測定・体積測定		
14	TS（トータルステーション）の取り扱い		30	土積図について		
15	GNSS・レベル（4級）取り扱い		31	総合演習（1）		
16	TS測量（外業）		32	総合演習（2）		
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	12012

■ 測量研究科 教科目〔科目担当者〕一覧

		測量・設計実務経験者授業				35 単位	35 単位	
		施工実務経験者授業				0 単位		
		1年次総単位数				44 単位		
		2年次総単位数				0 単位		
		総単位数				44 単位		
科目	学年	必選別	担当者	測量・設計 実務経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数	
一般法規	1	必修	伊藤 佑樹	○		16	1	
測量関連条約法律	1	必修	中澤 律夫	○		16	1	
数学・統計学	1	必修	宮口 直人	○		56	2	
物理学・地球科学	1	必修	宮口 直人	○		16	1	
地域計画	1	必修	望月 博達			32	2	
土木・計測学	1	必修	宮口 直人	○		16	1	
電子工学	1	必修	宮口 直人	○		16	1	
情報処理	1	必修	宮口 直人	○		16	1	
基準点測量	1	必修	宮口 直人	○		64	3	
水準測量	1	必修	梅田 忠			32	2	
GNSS測量	1	必修	梅田 忠			32	2	
地形測量	1	必修	小川 隼人	○		40	2	
写真測量	1	必修	鈴木 将仁			40	2	
地図編集	1	必修	望月 博達			16	1	
三次元点群測量	1	必修	小川 隼人	○		32	2	
応用測量	1	必修	小川 隼人	○		56	2	
地理情報システム	1	必修	宮口 直人	○		72	3	
課題研究	1	必修	中澤 律夫	○		96	4	
プレゼンテーション	1	必修	宮口 直人	○		24	1	
測量実務	1	必修	中澤 律夫	○		48	2	
実習	1	必修	中澤 律夫	○		256	6	
集中実習	1	必修	中澤 律夫	○		70	2	

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		三次元点群測量				
② 対象学科		工業専門課程 測量研究科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		小川 隼人	⑧ 実務経験	測量・設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
三次元点群測量は、測量分野において近年注目されている技術であり、この測量は対象物の形状や位置を非常に高精度に取得できる技術です。この技術を習得することで、より正確な測量データを取得し、設計や施工に活かす方法を理解させる。						
⑬ 授業の概要						
三次元点群測量の基礎、点群データの取得方法、点群データの処理と解析、点群データの利用に関する応用力を養う。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	三次元点群データの基礎とT o F技術		17			
2	T L Sの構造と設置・観測計画		18			
3	複数サイトの点群結合と位置合わせ		19			
4	M M Sの構成と計測原理		20			
5	移動体測位と走行軌跡の補正		21			
6	航空機からの広域点群計測の仕組み		22			
7	オリジナルデータとグラウンド処理		23			
8	ドローン搭載型センサの特性		24			
9	対空標識の配置と飛行パス設計		25			
10	A L Bの計測原理と緑色レーザ		26			
11	水底の三次元計測と屈折補正数理		27			
12	点群のノイズ除去とデシメーション		28			
13	3次元成果物の作成と幾何構造化		29			
14	記載事項の定義と品質評価		30			
15	点群測量の検証と成果管理		31			
16	総括・確認試験		32			
⑰ その他		教科書	受験テキスト	出版社：	日本測量協会	
		教材	配布資料	著 者：		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	13015

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	応用測量					
② 対象学科	工業専門課程 測量研究科			③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	56	⑥ 単位数	2	
⑦ 担当教員(代表)	小川 隼人	⑧ 実務経験	測量・設計実務経験者			
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業			
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
線状築構造物（道路や水路、送電線等）建設のための調査、計画、実施設計に用いられる測量について測量全般の流れ、応用測量での基礎知識、作業規程、道路の構造（道路構造令等）、線形計算、中心線計算、縦横断面図の作成等に関する知識を学ぶ。						
⑬ 授業の概要						
応用測量全般の流れ、路線設計の基礎知識、作業規程、道路の構造（道路構造令等）、線形計算、中心線計算、平面図、縦横断面図の作成等に関する知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	応用測量の目的分類と計画策定管理		17	治水・利水計画と河川測量の体系		
2	道路・鉄道等の計画プロセスと概要		18	河川敷への距離標設置と水準基標		
3	平面線形の設計理論と曲線の幾何学		19	河川堤防・高水敷の形状観測実務		
4	現地への中心杭の設置と主要点配置		20	水底の地形計測と音響測深の技術		
5	路線の縦断・横断形状の計測実務		21	堤防・護岸の設計線の現地展開実務		
6	設計データに基づく用地幅杭の配置		22	流速・断面積データからの流量算出		
7	縦横断データを用いた切土盛土計算		23	変位計測の技術と応用測量の総括		
8	不動産登記と土地境界の法制度概要		24	総括・確認試験		
9	公図・登記簿の調査と現地踏査技術		25			
10	関係地権者との立会いと境界の合意		26			
11	境界標の位置計測と座標計算の実務		27			
12	座標法による多角形土地の面積算定		28			
13	図式規程に基づく用地実測図の作図		29			
14	一筆地調査のプロセスと国土調査法		30			
15	土地区画整理と宅地造成の測量技術		31			
16	前半の総括・確認試験		32			
⑰ その他		教科書	受験テキスト	出版社：	日本測量協会	
		教材	配布資料	著 者：		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	13016

■ 建築工学科（夜間部） 教科目〔科目担当者〕一覧

設計実務経験者授業	42 単位	43 単位
施工実務経験者授業	1 単位	
1年次総単位数		30 単位
2年次総単位数		28 単位
総単位数		58 単位

科目	学年	必修別	担当者	設計実務 経験者	施工実務 経験者	時間数	単位数
建築製図Ⅰ	1	必修	三ッ井 正和	○		96	6
建築製図Ⅱ	2	必修	佐藤 龍彦	○		96	6
建築計画	1	必修	細野 耕司			48	3
計画実践	2	必修	佐藤 龍彦	○		48	3
建築史	2	必修	澤田 多喜二			33	2
環境工学	1	必修	澤田 多喜二			48	3
建築設備	2	必修	西岡 英明	○		48	3
構造力学Ⅰ	1	必修	森 登	○		48	3
構造力学Ⅱ	2	必修	森 登	○		48	3
建築一般構造	1	必修	安藤 修	○		48	3
建築材料	1	必修	二宮 伸吾	○		48	3
建築施工	1	必修	稲生 哲雄	○		48	3
施工図	2	必修	佐藤 龍彦	○		15	1
建築積算	2	必修	二宮 伸吾	○		33	2
建築法規	1	必修	青山 好之	○		48	3
施工管理	2	必修	稲生 哲雄	○		48	3
建築士演習	2	必修	澤田 多喜二			15	1
建築測量実験	2	必修	阿部 嘉則		○	48	1
C A D演習Ⅰ	1	必修	吉岡 竜巳			48	3
C A D演習Ⅱ	2	必修	吉岡 竜巳			48	3

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 建築工学科（夜間部）		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	96	⑥ 単位数	6
⑦ 担当教員(代表)		三ッ井 正和		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、50点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。 1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。 2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	線・文字の練習		17	非木造建築物（RC造）の配置図、求積表、面積表		
2	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）		18	非木造建築物（RC造）の1階平面図		
3	木造2階建専用住宅の配置図、求積図、面積表		19	非木造建築物（RC造）の基準階平面図等		
4	木造2階建専用住宅の1階平面図		20	非木造建築物（RC造）の立面図等		
5	木造2階建専用住宅の2階平面図、屋根伏せ図		21	非木造建築物（RC造）の断面図等		
6	木造2階建専用住宅の立面図		22	非木造建築物（RC造）の1階平面詳細図等		
7	木造2階建専用住宅の断面図		23	非木造建築物（RC造）の基準階平面詳細図等		
8	木造2階建専用住宅の矩計図		24	非木造建築物（RC造）の断面詳細図等		
9	木造2階建専用住宅の1階平面詳細図		25	非木造建築物（RC造）の大梁、小梁、柱の断面リスト		
10	木造2階建専用住宅の2階平面詳細図		26	非木造建築物（RC造）の各種伏図、各種配筋図		
11	木造2階建専用住宅の展開図		27	非木造建築物（S造）の配置図、求積表、面積表、1階平面図		
12	木造2階建専用住宅の基礎伏図		28	非木造建築物（S造）の基準階平面図等		
13	木造2階建専用住宅の各種伏図		29	非木造建築物（S造）の立面図、断面図		
14	木造2階建専用住宅の各種伏図		30	非木造建築物（S造）の各種伏図等		
15	木造2階建専用住宅の各通り軸組図、仕上げ表、表紙		31	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）		
16	木造2階建専用住宅の各通り軸組図、仕上げ表、表紙		32	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）		
⑰ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	永井孝保 他
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	110101